

在校生への校長メッセージ

在校生の皆さんへ

新緑の美しい季節の宴の中での学校再開は叶いませんでしたが、光塩女子学院中・高等科では、6月の再開を期しつつ、4月から課題配信で活用していた Google ドライブから双方向が可能な Google Classroom へと移行し、オンライン授業の充実を図っているところです。5月18日からの使用開始を前に、今週は、今迄の課題の中で取り組みが未だのものを完了させたり、問題集などを利用した発展的学習に充てたりして、課題内容の徹底理解に努めてください。全て終わった方には、学校 HP『始業式に贈る校長メッセージ』(4/8)で提起した、「AI よりも人間が秀でている価値や能力（例えば、ホスピタリティー<歓待>）」に就いて思考を深めたり、『在校生への校長メッセージ』(4/23)で提示した、新型コロナウイルス感染症に関連した問題点をテーマに設定して、自分で調べ考察し、それを文章にまとめたりする作業をお勧めします。比較的自由な時間が持てる機会を活用して、自分で課題を見つけて解決策を考えるという、主体的な取り組みにチャレンジしてみてください。文章作成に際しては、自分の書いたものの中に矛盾する内容が含まれていないか、他者の反論を想定しての展開があるか等、ロジカルシンキングやクリティカルシンキングの視点も取り入れるように心掛けてみましょう。

加えて、自分の興味のあるジャンルや進路に関するテーマ、そして、教科に関する発展課題く「 π の歴史」「飛沫感染と言語の関係」「物語（ものがたり）というのに事語（ことがたり）と合わない理由」「日英慣用表現の比較」「聖書と芸術（絵画・音楽……）」「<大人（おとな）>の定義」「<コロンブスによるアメリカ大陸>」の後に続く二字熟語は？」「天体の運行と暦の関係」等くを発掘して楽しんでください。

さて、新年度が始まり、お会いできないまま一か月以上が経過してしまいましたが、ここで、学校目標「光と塩」を達成するための学年進行の目標について確認し、具体的な行動に繋げる機会にしたいと思います。

〈学年進行の目標〉

- 中1 自分との出会い
- 中2 自分と他者との関わり
- 中3 社会の中での自分
- 高1 自然の中での自己発見
- 高2 社会の中での自己発見
- 高3 Women for Others

例えば、今回の緊急事態宣言を受けての日常生活において、次のような実践は、如何でしょうか。

〈実践例〉

- 中1 新しいお友達にむけて自己紹介ボードを作成する。
 - 中2 外出自粛生活中の心のモヤモヤを言葉にし、御家族との対話を通して分かち合う。
 - 中3 新型コロナウイルスによるパンデミックが続く中、社会の一員として自分がすべきことを具体的に考え、行動を起こす。
 - 高1 「JT 生命誌研究館」のHPに掲載されている「生命誌絵巻」を凝視して、「生命」について考える。(自然界との共生)
 - 高2 ポスト・コロナ時代の社会のあり方を想定し、自分の生き方について思いを馳せる。
 - 高3 SDGsの各項目の中で、自分の専門を生かすことのできる課題を見つけ、その解決策を模索する。
- 御自身で、実践方法を種々探究してみてください。

緊急事態宣言が延長され、落ち着かず、着地点の見えにくい、このような時機こそ、「今、ここ」を生きることが大切です。

ものごとをよく果たすにも、いいかげんにするにも同じくらいの時間がかかります。一生懸命やっていい成績で一学年通すのも、いいかげんにして落第するのも、同じように1年かかります。(福者ジャコモ・アルベリオーネ司祭のことば 女子パウロ会の資料による)

教科の習得、課題解決のための思考等、学びにはたくさんの時間が必要です。特に、答えのない課題に取り組んで自分として確信のある「答え」に辿り着くには、情報収集・分析・考察、そして他者との対話、自己との対峙等の探究が不可欠であり、莫大な時間を要します。上記のアルベリオーネ司祭の言葉を心に留めて、「今、ここ」と真剣に関わり、神様から与えられたいのちを愛でて、「全幅の人生」を歩みたいものです。「今、ここ」で自己と向き合い、自分のために時間を使って誠心誠意生きるとは、自分に愛を注ぐことと同義です。他者のために生きるためにも、自己の英気をしっかり養いましょう。「今、ここ」を生きる体験は、時間がまさにいのちに直結しているという真理を示唆しているのです。

課題解決のための「探究」のプロセスにおいて、「人はなぜ学ぶのか」についても考えてみてください。この問いについて定番の答えはありませんが、「幸せになるために学ぶ」と考えてみるのは如何でしょう。幸せは、物質的豊かさによってもたらされることもあります。神様から戴いたタレント（才能・能力、豊かな人間性等）を最大限に活かし、即ち、自分を生かし、学校や社会で活躍して、心から喜んで人生を歩むことで実感できるものなのです。人生において活躍するためには、アンテナを張ってチャンスを掴まなくてははいけません。しかし、幸運の女神の前髪は短い！と言われていています。目の前の好機を逃さないために、油断のない準備が不可欠であり、その準備に相当するものが日々の学び、特に中高時代に積み重ねる各教科の基礎学力（知識情報・思考力・言語力・数理力・読解力・論理力・表現力等）やリベラルアーツなのです。幸運に偶然出会ったり、予想外の発見をしたりすることを「セ

レンディピティ」と言いますが、これは、タナボタ(棚から牡丹餅)式の、所謂「ラッキー」ではありません。目の前に到来したチャンスをものにできるように、しっかり準備していたからこそその幸運到来なのです。日々の学びを楽しみ、「セレンディピティ」を培いましょう。その延長上に「Ambition (大志)」を叶える「夢の実現」があります。「Ambition (大志)」は、学年初めのメッセージでお伝えした、「光と塩」の精神を深めるための「SALT」の頭文字を使ったキーワードの「A」に当たります。始業式のメッセージで触れた「S」の「Sustainability」と共に心のどこかに留めておいてくださったら、嬉しいです。「L」と「T」に就いては機会を改めてお伝えします。

Google Classroom 移行完了の5月18日までの約1週間、主体的・自発的学びの素敵な日々でありますように！

御家族の皆様とのホスピタリティー溢れる関わりと「すべてのいのちを守る」ための行動を実践し、精神的にも身体的にも元気澆刺の毎日であることをお祈りしています。